

第130回 創薬科学セミナー

先端薬科学特論: 単位認定講義

講義室にご参加希望の方は
クリックしてメールアドレスを登録ください!

[登録URL](#)

Zoom接続をご希望の方は
クリックしてメールアドレスを登録ください!

[登録URL](#)

日時: 2020年12月2日(水曜日) 17:00~18:30

場所: 創薬科学研究館2階 講義室 + Zoom配信

対象: 学部生・大学院生

講演タイトル:

『他分野連携による”ありふれた”ウイルス(EBウイルス)の理解』

講師:

名古屋大学医学系研究科
微生物・免疫学講座ウイルス学・講師
JSTさきがけ(兼任)
佐藤 好隆 博士

EBウイルス(Epstein-Barrウイルス; EBV)は、成人の90%以上が抗体を保有しており、最も広く浸淫しているウイルスの一つである。発見からすでに50年が経過しているが、その性質や細胞内での挙動は未だ不明な点も多い。たとえば、病因ウイルスとそれがもたらす疾患は、ほとんどが1対1の関係にあるが、EBウイルスは腫瘍性疾患(治療が必要な悪性腫瘍を含む)だけでなく伝染性単核症(一過性のウイルス血症で治療なしに自然寛解する良性疾患)の原因にもなる。このEBウイルスを包括的に理解するためのCRISPRスクリーニング、シングルセル解析、組換えウイルス技術など他分野連携について紹介したい。

ネオウイルス学という領域が広がりつつある
ウイルスの最先端研究やシングルセル解析について
ご講演いただきます。
奮ってご参加ください!

連絡先: 創薬科学研究科 加藤竜司 (kato-r@ps.nagoya-u.ac.jp)